

目指せもっけ売上上昇！

～大学生の求める理想のコンビニ像とは？～

C1240233 石川志奈

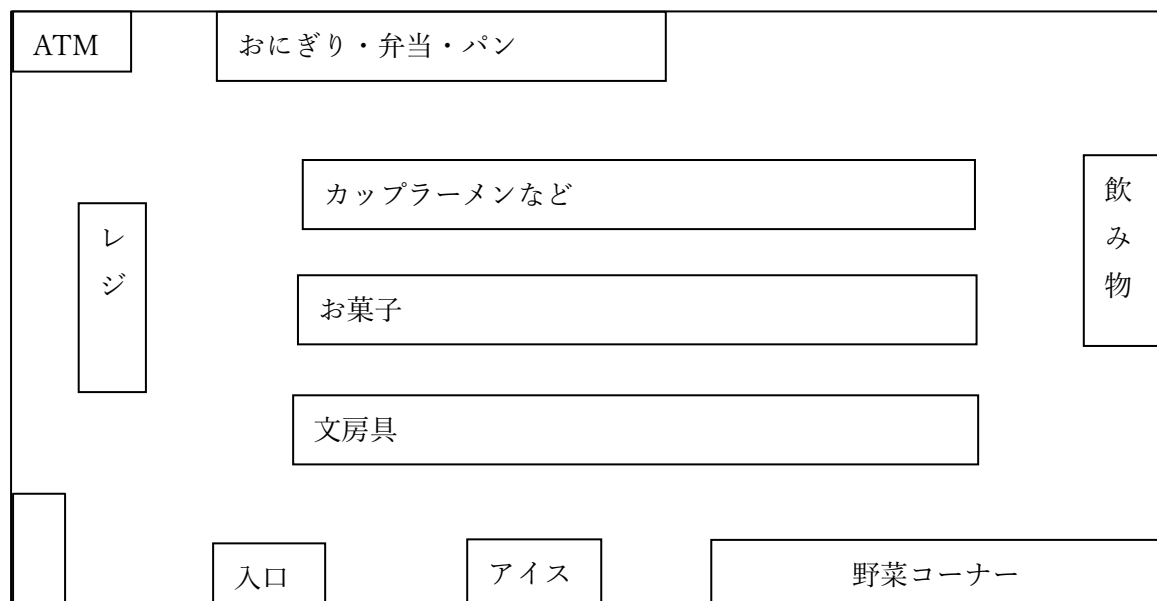
問題：利用者のニーズに応える新しいコンビニ（もっけ）を提案する。

共感：私はまず、友人 A と一緒にもっけを利用し、お互いの気づいたことや意見を交換するという活動を行った。ここで、私たちの顕在的ニーズは、ATM がほしい、野菜を置いてほしい、商品の品数を増やしてほしい、もう少し安く売ってほしい、もう少し営業時間を長くしてほしいなどであった。これらの顕在的ニーズから、私たちの潜在的ニーズは、実際のコンビニとスーパーが融合したような売店がほしい、5 限終わりの一番お腹が空いているときに利用したい、であると考えた。

課題定義：「コンビニとスーパーの良いとこどりかつ、学生が利用しやすく財布にやさしい売店を作るにはどうしたらよいだろうか」

プロトタイプ案の提案：

- ① コンセプト：コンビニとスーパー、それぞれのメリットを活かし、融合した空間を作る
- ② プロダクト：ATM を作る、生野菜を置く、学生を従業員として雇い長時間営業を実現する、商品の品数を増やす（アイス）



コンビニだが、スーパーのように生野菜を置くことによって、学生の自炊を促すことが出来る。学生の中には、料理を作ることよりも材料を買いに行く方が面倒だと感じている人がいる。スーパーのように野菜をコンビニで販売することで、そのような人たちの健康的な食生活を支えることが出来るだろう。また、A T Mを設置することによって、学生がもっけを利用するきっかけを作りやすくなる。学内銀行A T Mがなくなって不便だという声もよく聞くため、もっけにA T Mを設置することによってそのような学生の不満を解消できるのではないかと考えた。

期待される効果

期待される効果は主に3つある。1つ目は、スーパーのように新鮮な野菜を商品として販売することで、学生の自炊を促すことが出来るという効果だ。また、バランスの取れた食事を心がけるきっかけともなるだろう。2つ目は、学生を従業員として雇うことで長時間営業することができるという効果だ。学生を従業員として雇うことで、職員の方々の負担を増やすことなく、遅い時間まで営業することが出来るだろう。また、ちょっとしたお小遣い稼ぎをしたいということをきっかけにもっけに興味を持ってもらうことが出来るだろう。長時間営業を実現することで、5限終わりの一番お腹が空いている時に商品を買うことができ、学生の需要に応えやすくなる。3つ目は、A T Nを設置することで、学生が利用しやすい環境になるという効果だ。免許のない学生にとっては郵便局に行くことも困難な場合が多いため、学内にA T Mを設置することによって学生がより便利にコンビニ（もっけ）を利用することが出来る。